

**製品名: ヒト P16 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM80595**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	/

**抗原情報**

遺伝子名	Human P16
別名	Human P16
遺伝子 ID	1029.0
SwissProt ID	P42771
免疫原	大腸菌で発現した P16 の精製された組み換え断片。

**背景**

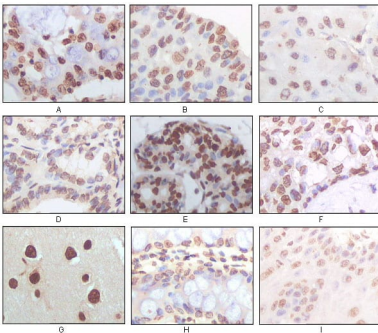
p16 (サイクリン依存性キナーゼ阻害因子 2A、INK4a) は腫瘍抑制タンパク質です。Cdk 4/Cdk 6 の特異的阻害剤であり、様々な悪性腫瘍の病態に関与する腫瘍抑制因子です。最近の p16 INK4a 遺伝子の解析により、いくつかのヒト癌においてホモ接合欠失、ナン

センス変異、ミスセンス変異、またはフレームシフト変異が明らかになりました。p16 INK4a の異常頻度は、無作為抽出された原発性腫瘍よりも腫瘍由来細胞株で高いものの、メラノーマ、神経膠腫、食道癌、膵臓癌、肺癌、膀胱癌、および一部の白血病において、p16 INK4a 遺伝子の異常を伴う臨床症例の重要なサブセットが報告されています。

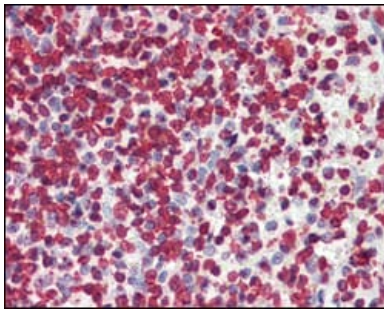
## 研究分野

-

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト肺腺癌 (A)、食道扁平上皮癌 (B)、肝細胞癌 (C)、甲状腺腫瘍 (D)、乳房線維腫 (E)、乳房浸潤性乳管癌 (F)、正常大脳組織 (G)、正常結腸組織 (H)、正常食道組織 (I) の免疫組織化学分析。DAB 染色による P16 マウス mAb を使用して核局在を示しています。



P16 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト脾臓組織の免疫組織化学分析。